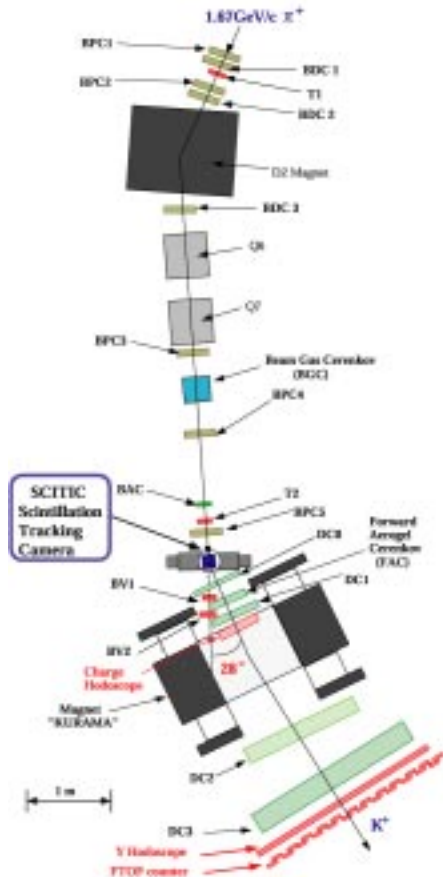
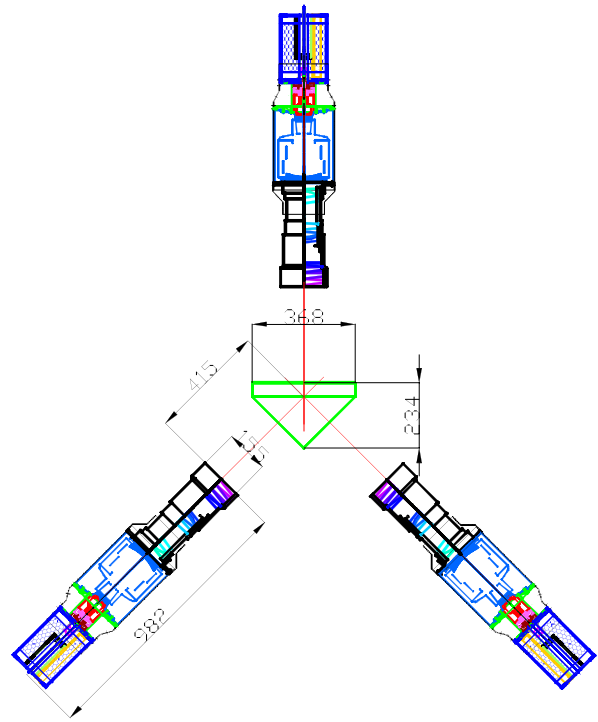


MACHINE TIME EXECUTIONREPORT (2001-4 CYCLE)

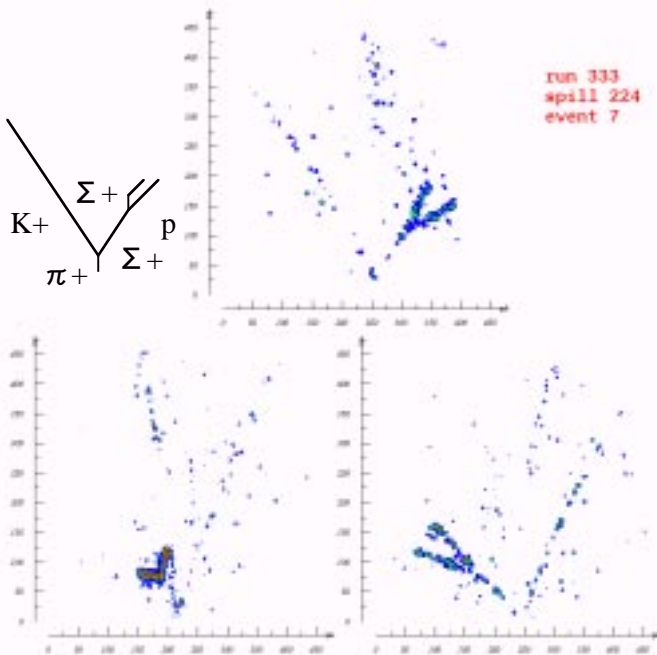
Experimental Group	E452	Reporter	浅井 淳吉
Scheduled Period and Shift	2001-4-1,2 11/15-12/3 12/5-12/23	Main, Sub, Para	K2
Experimenters 中井浩二、門脇徹人、C.J.YOON、浅井淳吉、岩田宗磨、黒澤真城			
<p>SUMMARY OF EXECUTION AND RESULTS</p> <p>E452A(2000年12/6-12/25)で使用したSCITIC(Scintillation Tracking Image Camera)を改良し、Σ+p散乱実験を行った。</p> <p>今回はSCITICを2台から3台に増やした。SETUPは別紙に載せる。SCITICのレンズ系をNIKONのEF85mmから特注大口径レンズ(ϕ 200mm)を使用し、視野をϕ 120mmからϕ 200mmの画像を収集した。</p> <p>データは合計3×10^6枚(20shifts)収集し、現在スキヤニング中でΛやΣのイベントの選別をしている。</p>			
<p>EXECUTED MACHINE TIME, BEAM CONDITION, DOWN TIME etc.</p> <p>DCセパレーターの真空モニターが使用できなくなり、予備に切り替え使用した。</p> <p>12/16までは2×10^{12}、12/18からは1×10^{12}で実験を行った。</p>			
COMMENTS			



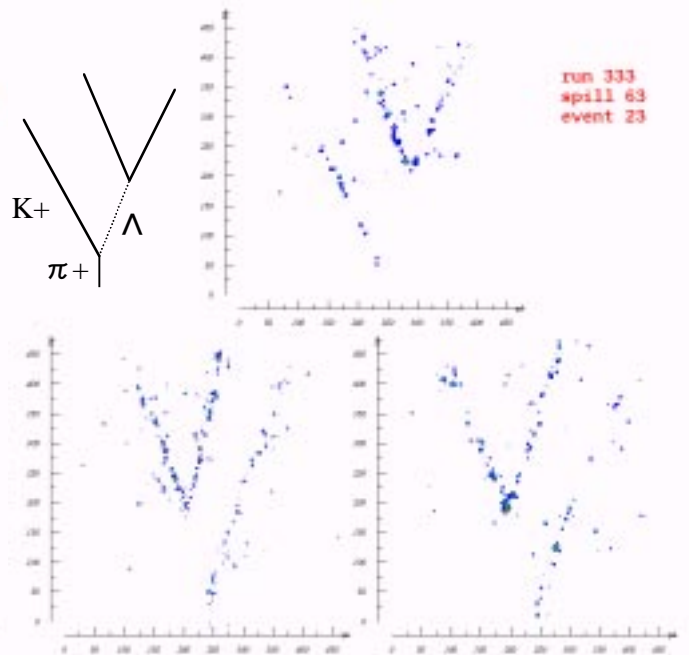
1. 1.6 GeV/c π^+ SETUP



2. SCITIC SYSTEM



3. $K^+ p$ 散乱候補画像



4. Λ 生成候補画像

画像は縦横200mmに対応している3枚の画像は同じイベントである。

上の画像はターゲットを上部から観測し、下板は斜め下45度から観測したものである。